

## 9 高等学校（卒業後の状況）

大学等進学率 52.2% で全国第 20 位

県内就職率 91.8% で全国第 6 位

表 25 高等学校（全日制課程・定時制課程）卒業者の状況別推移

（単位：人、％）

各年 3月	A	B	C	D	E		F	G	H	I	J	K
	卒業生数	大学等 進学者	専修学校 専門課程 進学者	専修学校 一般課程 等入学者	就職者	うち正規 の職員等 でない者	一時的な 仕事に就 いた者	左記以外 の者	不詳 死亡	BCDのう ち就職し ている者 (再掲)	大学等 進学率 B/A	就職率 (E+I)/A
平成24	8,791	4,683	1,486	682	1,791		46	100	3	11	53.3	20.5
25	9,556	5,003	1,724	664	1,957		66	142	—	12	52.4	20.6
26	9,106	4,712	1,627	593	2,007		37	130	—	12	51.7	22.2
27	9,365	4,870	1,668	620	2,063	2	37	107	—	18	52.0	22.2
28	9,161	4,762	1,512	644	2,083	7	33	127	—	9	52.0	22.8
<b>29</b>	<b>9,115</b>	<b>4,760</b>	<b>1,550</b>	<b>640</b>	<b>2,027</b>	<b>3</b>	<b>44</b>	<b>94</b>	<b>—</b>	<b>7</b>	<b>52.2</b>	<b>22.3</b>
男子	4,574	2,212	512	470	1,318	1	19	43	—	3	48.4	28.9
女子	4,541	2,548	1,038	170	709	2	25	51	—	4	56.1	15.7
公立	7,240	4,078	1,126	547	1,411	2	5	73	—	7	56.3	19.6
私立	1,875	682	424	93	616	1	39	21	—	—	36.4	32.9

注) 1 「A 卒業生数」は、全日制課程本科・定時制課程本科の卒業生数。

2 「D 専修学校一般課程等入学者」とは、専修学校一般課程、各種学校及び公共職業能力開発施設等入学者。

3 「F 一時的な仕事に就いた者」は、パートやアルバイト等の臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者の数で、就職率には含まれていない。

### (1) 卒業生数

平成 29 年 3 月の高等学校卒業生数は 9,115 人で、前年度より 46 人 (0.5%) 減少している。

男女別にみると、男子が 4,574 人で、前年度より 84 人 (1.8%) 減少し、女子が 4,541 人で、前年度より 38 人 (0.8%) 増加している。

設置者別では、公立が 7,240 人、私立が 1,875 人となっている。

課程別では、全日制課程が 8,830 人、定時制課程が 285 人となっている。

進路別では、大学等進学者が 4,760 人 (構成比 52.2%)、専修学校専門課程進学者が 1,550 人 (同 17.0%)、専修学校一般課程等入学者が 640 人 (同 7.0%)、就職者が 2,027 人 (同 22.2%)、一時的な仕事に就いた者が 44 人 (同 0.5%) などとなっている。

(表 25、統計表 124、125、126、127)

### (2) 大学等進学者数

大学等への進学者数は 4,760 人 (男子 2,212 人、女子 2,548 人) で、前年度より 2 人 (0.0%) 減少している。その内訳は、大学学部 4,047 人 (男子 2,113 人、女子 1,934 人) (構成比 85.0%)、短期大学本科 645 人 (男子 85 人、女子 560 人) (同 13.6%)、高等学校専攻科 65 人 (同 1.4%)、大学・短期大学の別科 1 人 (同 0.0%)、大学・短期大学の通信教育部 2 人 (同 0.0%) である。

卒業学科別にみると、普通科が 3,689 人 (構成比 77.5%)、農業科が 31 人 (同 0.7%)、工業科が 182 人 (同 3.8%)、商業科が 277 人 (同 5.8%)、水産科が 13 人 (同 0.3%)、家庭

科が51人（同1.1%）、看護科が38人（同0.8%）、福祉科が10人（同0.2%）、理数関係又は外国語関係など（統計表では「その他」に計上）が221人（同4.6%）、総合学科が248人（同5.2%）となっている。（表25、26、統計表124、125）

表26 大学等進学者の進学先別内訳

（単位：人）

各年 3月	大学（学部）			短大（本科）			大学・短大 の別科	高等学校 専攻科	特別支援学校 高等部専攻科	大学・短大の 通信教育部
	計	男子	女子	計	男子	女子				
平成24	3,905	2,086	1,819	699	101	598	—	75	1	3
25	4,160	2,256	1,904	780	114	666	—	61	1	1
26	3,984	2,160	1,824	659	96	563	—	68	1	—
27	4,086	2,155	1,931	710	96	614	1	73	—	—
28	4,017	2,147	1,870	655	90	565	—	89	—	1
<b>29</b>	<b>4,047</b>	<b>2,113</b>	<b>1,934</b>	<b>645</b>	<b>85</b>	<b>560</b>	<b>1</b>	<b>65</b>	<b>—</b>	<b>2</b>

### （3）大学等進学率

大学等進学率は52.2%で、前年度より0.2ポイント上昇し、全国第20位（前年度第21位）であった。このうち大学学部への進学率は44.4%で、前年度より0.6ポイント上昇し、短期大学本科への進学率は7.1%で、前年度と同率であった。

男女別にみると、男子が48.4%（前年度48.7%）、女子が56.1%（前年度55.4%）で、女子の大学等進学率が男子を上回っている。大学学部への進学率では、男子が46.2%（前年度46.1%）、女子が42.6%（前年度41.5%）と、男子が女子を上回っている。なお、女子の進学率の内訳では、大学学部への進学率（42.6%）が短期大学本科への進学率（12.3%）を上回っている。

卒業学科別では、普通科が62.5%（前年度63.3%）、農業科が17.9%（前年度17.9%）、工業科が16.5%（前年度15.1%）、商業科が37.3%（前年度34.7%）、水産科が21.7%（前年度15.5%）、家庭科が23.0%（前年度27.4%）、看護科が100.0%（前年度97.3%）、福祉科が33.3%（前年度26.3%）、理数関係又は外国語関係など（統計表では「その他」に計上）が58.3%（前年度56.7%）、総合学科が53.2%（前年度48.6%）となっている。

（表25、27、図11、12、13、統計表124、125）

表27 大学等進学率の推移

（単位：%）

各年3月	富山県	男子	女子	全国
平成19	53.6	51.5	55.7	51.2
20	54.6	52.0	57.3	52.8
21	54.2	50.5	58.0	53.9
22	55.2	52.5	57.9	54.3
23	54.2	51.1	57.3	53.9
24	53.3	50.7	55.8	53.5
25	52.4	49.6	55.1	53.2
26	51.7	49.1	54.4	53.8
27	52.0	48.6	55.4	54.5
28	52.0	48.7	55.4	54.7
<b>29</b>	<b>52.2</b>	<b>48.4</b>	<b>56.1</b>	<b>54.7</b>

注) 大学等進学率の最高は、平成22年の55.2%であった。  
男女別では、男子は平成22年の52.5%、女子は平成21年の58.0%であった。

図11 大学等進学率の推移（全国比較）

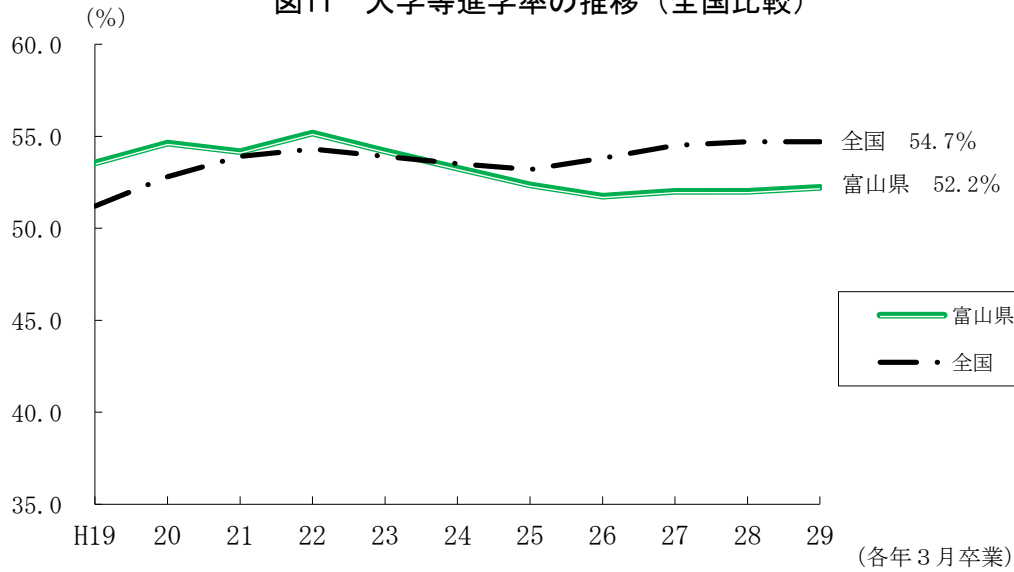


図12 大学等進学率の推移（男女別全国比較）

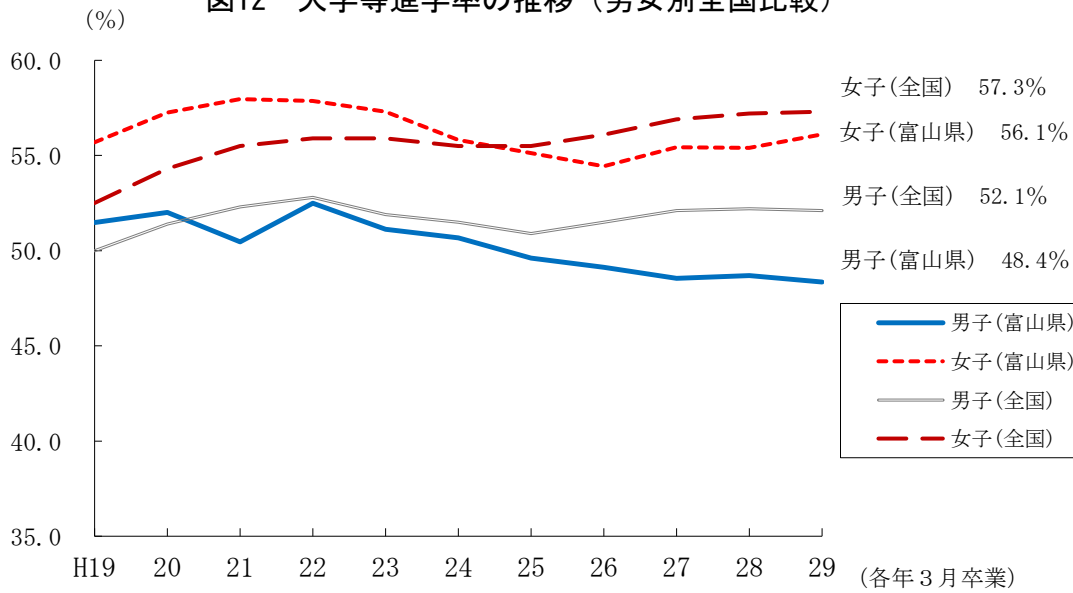
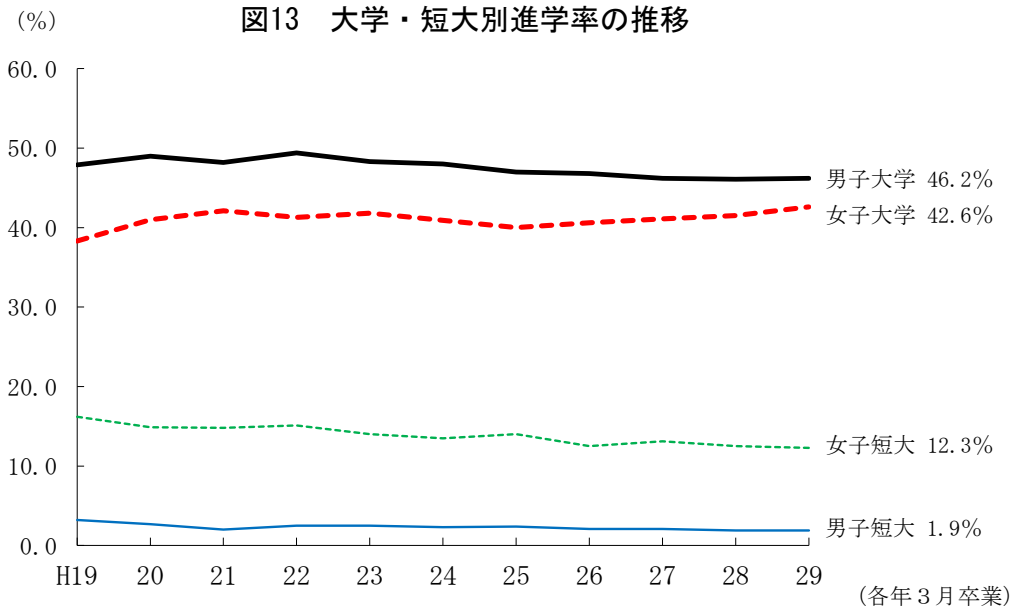


図13 大学・短大別進学率の推移



#### (4) 就職状況

就職者総数（表25の「E就職者」と「I BCDのうち就職している者（再掲）」（就職進学者）を加えた全就職者数）は2,034人（男子1,321人、女子713人）で、前年度より58人（2.8%）減少している。その内訳は、就職者2,027人、就職進学者7人であった。

就職率は22.3%で、前年度より0.5ポイント低下しており、全国の17.8%を上回っている。男女別にみると、男子が28.9%（前年度29.5%）、女子が15.7%（前年度16.0%）となっている。

就職者総数を産業別にみると、「製造業」が1,140人（構成比56.0%）で最も多く、次いで「建設業」が186人（同9.1%）、「卸売業・小売業」が156人（同7.7%）などとなっている。

職業別では、「生産工程従事者」が1,097人（構成比53.9%）で最も多く、次いで「サービス職業従事者」が220人（同10.8%）、「事務従事者」が136人（同6.7%）、「専門的・技術的職業従事者」が121人（同5.9%）などとなっている。

就職先を県内・県外別にみると、県内就職者数が1,868人で、県外就職者数の166人を大きく上回っており、県内就職率は91.8%と、前年度より3.3ポイント低下し、全国第6位（前年度第2位）であった。

県外就職者の都道府県別では、石川県40人、東京都30人、愛知県23人、大阪府20人などとなっている。

（表25、28、図14、15、16、統計表124、125、129、130、131、132）

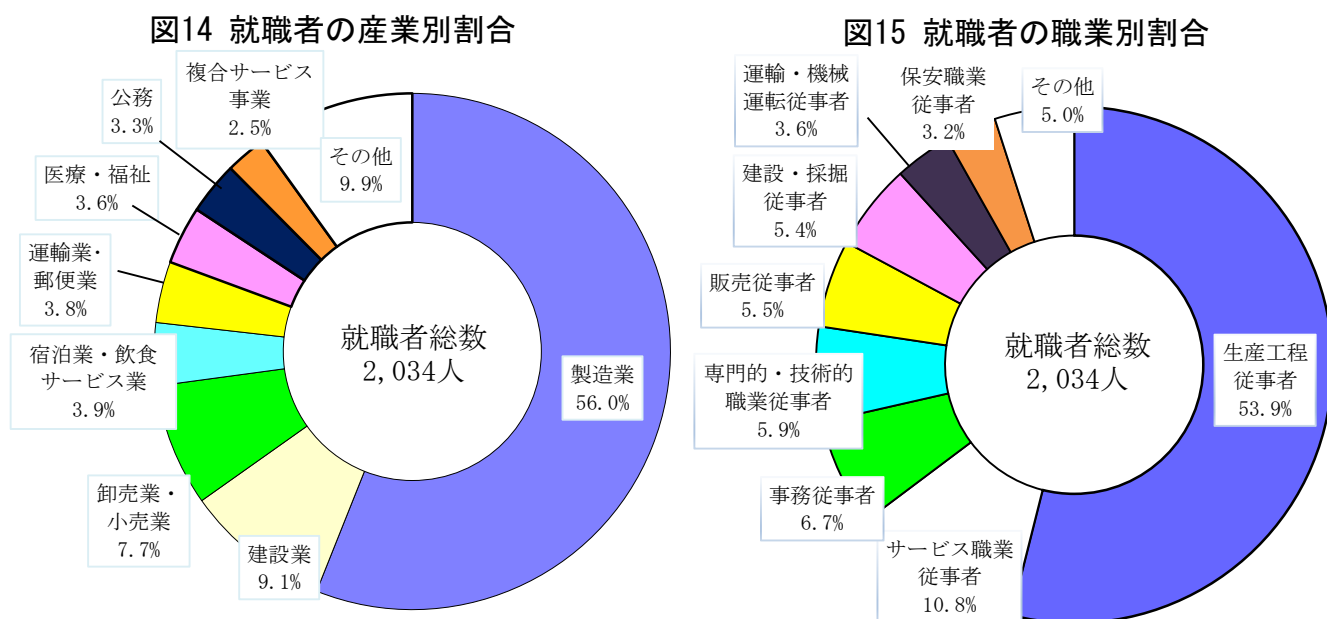


表 28 就職者数及び県内就職率の推移

(単位：人、%)

各年 3 月	就職者総数	うち県内 就職者	県内就職率
平成19	2,012	1,882	93.5
20	1,896	1,742	91.9
21	1,877	1,715	91.4
22	1,629	1,502	92.2
23	1,721	1,610	93.6
24	1,802	1,698	94.2
25	1,969	1,857	94.3
26	2,019	1,859	92.1
27	2,081	1,960	94.2
28	2,092	1,989	95.1
<b>29</b>	<b>2,034</b>	<b>1,868</b>	<b>91.8</b>

注) 県内就職率の最高は、平成28年の95.1%であった。

